

令和5(2023)年度とちぎ医療福祉機器産業振興協議会 事業実績

計 画 概 要	実 施 事 業																				
<p>1 ネットワーク形成支援 産学官のネットワークを形成し、相互交流、情報交換等を促進</p>	<p>(1) とちぎ産業振興協議会及びとちぎ未来技術フォーラムの会員数 (社・団体)</p> <table border="1" data-bbox="571 506 1423 797"> <thead> <tr> <th>組 織</th> <th>R5年度当初 会員数</th> <th>入退会数</th> <th>現会員数 (R6. 4. 11)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自動車</td> <td>397</td> <td>+16</td> <td>413</td> </tr> <tr> <td>航空宇宙</td> <td>245</td> <td>+14</td> <td>259</td> </tr> <tr> <td>医療福祉機器</td> <td>298</td> <td>+8</td> <td>306</td> </tr> <tr> <td>フォーラム (AI・IoT・ロボット、光学、 環境・新素材)</td> <td>344</td> <td>+19</td> <td>363</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) プロジェクト推進会議及びフォーラム幹事会(書面開催) 幹事、顧問等により、令和5年度事業の内容等について協議 ・令和5年3月、書面により実施</p> <p>(3) とちぎ産業振興協議会定期総会、とちぎ未来技術フォーラム幹事会等 ・開催日：R5. 5. 16(火) ・会 場：ホテル東日本宇都宮</p> <p>○とちぎ産業振興協議会定期総会(自動車、航空宇宙、医療福祉機器) ・議題：令和4(2022)年度事業報告について 令和5(2023)年度事業計画(案)について 役員改選(案)について ・参加：自 動 車…203社・団体(含委任状152)、51名 航 空 宇 宙…141社・団体(含委任状102)、39名 医 療 福 祉 機 器…169社・団体(含委任状134)、35名 ・結果：各議案について原案どおり承認</p> <p>○とちぎ未来技術フォーラム幹事会 ・議題：令和4(2022)年度事業報告について 幹事選任(案)について 令和5(2023)年度事業計画(案)について ・参加：27社・団体(含委任状7)、20名 ・結果：各議案について原案どおり承認</p> <p>○とちぎ産業振興協議会・とちぎ未来技術フォーラム合同講演会 ・テーマ：「中小企業のためのDX推進によるビジネスモデル構築 ～デジタル技術を活用した業務効率化やコストダウン実現 のヒント～」 講 師：(株)テクノ経営ウェブソリューションズ エキスパートコンサルタント 石橋 宏司 氏 ・参 加：168名</p>	組 織	R5年度当初 会員数	入退会数	現会員数 (R6. 4. 11)	自動車	397	+16	413	航空宇宙	245	+14	259	医療福祉機器	298	+8	306	フォーラム (AI・IoT・ロボット、光学、 環境・新素材)	344	+19	363
組 織	R5年度当初 会員数	入退会数	現会員数 (R6. 4. 11)																		
自動車	397	+16	413																		
航空宇宙	245	+14	259																		
医療福祉機器	298	+8	306																		
フォーラム (AI・IoT・ロボット、光学、 環境・新素材)	344	+19	363																		

計 画 概 要	実 施 事 業																				
	<p>(4) 「戦略3産業×未来3技術」推進加速化事業 協議会及びフォーラム会員企業間の対面式展示交流会を開催(R6.1.22) ・会場：マロニエプラザ ・出展：42社・団体 ・参加：137名</p> <p>(5) コーディネート事業 (公財)栃木県産業振興センターにコーディネーターを配置し、協議会及びフォーラム会員企業からの各種相談等に対応</p> <table border="1" data-bbox="571 607 1347 936"> <thead> <tr> <th>分 野</th> <th>コーディネーター等</th> <th>相談等対応件数 (R6.3.31現在)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自動車</td> <td>岩下 隆</td> <td>70件</td> </tr> <tr> <td>航空宇宙</td> <td>田代 真一</td> <td>91件</td> </tr> <tr> <td>医療福祉機器</td> <td>鈴木 薫</td> <td>108件</td> </tr> <tr> <td>AI・IoT・ロボット</td> <td>とちぎビジネスAIセンター</td> <td>242件</td> </tr> <tr> <td>光学</td> <td rowspan="2">出口 信吉</td> <td>16件</td> </tr> <tr> <td>環境・新素材</td> <td>66件</td> </tr> </tbody> </table> <p>(6) 情報提供事業 ホームページ、メールマガジン等により随時、実施事業や県、国、支援機関における各種支援施策等に関する情報を提供</p> <p>(7) 協議会及びフォーラムの連携 各協議会が開催したセミナー、人材育成講座等においてフォーラム会員の参加を広く呼びかけたほか、フォーラム事業における交流やコーディネーターを介した情報交換等により連携を図った。</p>	分 野	コーディネーター等	相談等対応件数 (R6.3.31現在)	自動車	岩下 隆	70件	航空宇宙	田代 真一	91件	医療福祉機器	鈴木 薫	108件	AI・IoT・ロボット	とちぎビジネスAIセンター	242件	光学	出口 信吉	16件	環境・新素材	66件
分 野	コーディネーター等	相談等対応件数 (R6.3.31現在)																			
自動車	岩下 隆	70件																			
航空宇宙	田代 真一	91件																			
医療福祉機器	鈴木 薫	108件																			
AI・IoT・ロボット	とちぎビジネスAIセンター	242件																			
光学	出口 信吉	16件																			
環境・新素材		66件																			
<p>2 人材育成・確保支援 各産業分野や技術領域において求められる質の高い多様な人材の育成・確保のための取組を実施</p>	<p>(1) 医療福祉機器産業次世代人材育成事業 ○医療福祉機器産業次世代人材育成講座 参入を検討する上で理解しておくべきポイントや市場動向・技術動向、開発・商取引、法規制・保険制度などの基礎知識を広く習得する講座を開催</p> <p>[第1回](R5.11.6・会場(とちぎ福祉プラザ)) ・テーマ1：「福祉機器・用具等の市場動向や開発のポイント」 講 師：(公財)テクノエイド協会 企画部長 五島 清国 氏 ・テーマ2：「介護ロボ・用具の体験・見学会」 講師：(特非)とちぎノーマライゼーション研究会 理事長 伊藤 勝規 氏</p> <p>[第2回](R5.11.30・会場(栃木県庁研修館)) ・テーマ：「医療機器産業の市場動向と中小企業の新規参入の進め方」 講 師：mk DUO(同) CEO 肘井 一也 氏</p> <p>[第3回](R5.12.13・会場(栃木県庁研修館)) ・テーマ：「医療機器開発のための組織・仕組・手順・作成書類・リスクマネジメント」 講 師：(株)メディカルラボパートナーズ</p>																				

計 画 概 要	実 施 事 業
	<p>代表取締役 清水 美雪 氏</p> <p>・参 加：延べ12社、13名</p> <p>(2) 次世代型医療福祉機器開発促進事業</p> <p>○拡大連携促進セミナー</p> <p>未来3技術を活用した医療福祉機器の創出に向けた連携体構築機運醸成のためのセミナーを開催</p> <p>[第1回] (R5. 8. 23・オンライン)</p> <p>・テーマ1：「衣服感覚で装着できる歩行リハビリロボット curara®の開発と社会実装」</p> <p>講 師：AssistMotion(株) 代表取締役 橋本 稔 氏</p> <p>・テーマ2：「睡眠状態を可視化するベッドセンサ「Vital Beats®」」</p> <p>講 師：山形大学 有機エレクトロニクスイノベーションセンター 研究専任教授</p> <p>(株)フューチャーインク 取締役副社長 熊木 大介 氏</p> <p>・参 加：16社・団体、24名</p> <p>[第2回] (R6. 2. 22・オンライン)</p> <p>・テーマ1：「従来にない柔軟機構を活用した、小型・軽量・安価な手指リハビリ用ロボット装具「SMOVE」の開発および事業化」</p> <p>講 師：(株)メグウェル 代表取締役</p> <p>(株)三松 代表取締役社長 田名部 徹朗 氏</p> <p>・テーマ2：「AIによる姿勢分析・動作分析技術を活かしたウェルネス・リハケア領域への展開」</p> <p>講 師：(株)Sportip 代表取締役 高久 侑也 氏</p> <p>・参 加：15社・団体、20名</p> <p>共 通</p> <p>(1) 現場改善支援事業</p> <p>日産自動車(株)の協力により、生産性向上や在庫削減等の現場改善活動を支援</p> <p>○現場改善講師派遣事業(ファンド事業※)</p> <p>※ とちぎ未来チャレンジファンド活用助成事業(以下同じ)</p> <p>日産自動車(株)社員が支援企業に赴き、生産現場改善を直接指導</p> <p>・支援企業：5社(2年目企業:3社、1年目企業:2社)</p> <p>・協力：日産自動車(株) NPW改善コンサルティング室</p> <p>(2) 企業概要説明会</p> <p>新卒者採用の円滑化に向け、大学等と連携し企業概要説明会を開催</p> <p>○宇都宮大学(R6. 2. 13~16・対面)</p> <p>15社参加 630名</p> <p>○帝京大学(R6. 2. 6~9・対面)</p> <p>26社参加 420名</p> <p>○足利大学(R6. 3. 5~7・オンライン)</p> <p>10社参加 205名</p> <p>○小山工業高等専門学校(R5. 10. 4・対面)</p> <p>23社参加 195名</p> <p>○関東職業能力開発大学校(R5. 11. 24・対面)</p>

計 画 概 要	実 施 事 業
	<p>3社参加 199名 ○県央産業技術専門学校 (R6.3.8・対面) 25社参加 70名 ※ 参加学生数は、説明会に参加した延べ人数(非会員企業への訪問数も含む)</p>
<p>3 研究開発支援 加工技術や製品等の具体的研究・開発等を進めるため、研究会、助成事業等を実施</p>	<p>(1) 次世代型医療福祉機器開発促進事業 拡大連携マッチング事業 次世代型医療福祉機器製品の開発に向けた企業シーズ、医療福祉系大学からの医療・福祉ニーズ、最新の未来技術について意見交換できる場を提供するとともに、コーディネーターによる創出された開発テーマのプロジェクト化の支援を実施 ○シーズピッチ・ニーズ研究会 8テーマによる研究会を開催 ・コーディネーター (株)考える学校 代表取締役 (一社)日本医工ものづくりコモンズ 副理事長 柏野 聡彦 氏</p> <p>共 通</p> <p>(1) 戦略3産業・未来3技術に係る重点共同研究 戦略3産業・未来3技術における技術開発を支援するため、波及効果が高いテーマについて、企業等と産業技術センターが共同研究を実施 ・「チタン合金のエンドミル加工におけるMQL供給システムの開発」 (航空宇宙) 参加企業：1社 ・「酸化セリウムナノ粒子分散ゼオライトを用いた透明樹脂用紫外線遮蔽材の開発」 (自動車、環境・新素材) 参加企業：1社</p> <p>(2) 先進的技術・製品開発支援補助金 県内中小企業が連携し、戦略3産業等における未来3技術を活用した先進的な技術や製品の開発等に要する経費の一部を助成(助成率1/2以内、限度額2,000万円) ・実績：5件</p> <p>(3) オープンイノベーションプロジェクト支援事業 戦略3産業等の抱える課題を、未来3技術を活用してオープンイノベーションにより解決する取組について、産学官金連携体の連携構築を支援するほか、研究開発に要する経費を助成(助成率 定額、限度額250万円) ・実績：新規2件、継続2件</p> <p>(4) 技術高度化助成(ファンド事業) 会員企業が行う技術の高度化、新技術の開発等に要する経費の一部を助成(助成率2/3以内、限度額300万円) ・実績なし</p>

計 画 概 要	実 施 事 業
<p>4 販路開拓支援</p> <p>取引拡大を図るため、展示会の開催や会員情報発信等を実施</p>	<p style="text-align: center;">共 通</p> <p>(1) ものづくり企業技術提案事業 県内外のニーズ元企業から収集した開発・調達ニーズに対し会員企業がソリューションを提案する機会を設定 ・提案実績：なし</p> <p>(2) 展示会出展助成(ファンド事業) 各種展示会への出展に要する経費の一部を助成(助成率2/3以内、限度額100万円) ・実績：8件</p> <p>(3) 品質マネジメントシステム認証取得支援(ファンド事業) 販路開拓に必要な品質マネジメントシステムの認証取得助成(助成率2/3以内、限度額100万円[申請料、初回登録料等]) ・実績なし</p> <p>(4) 会員情報等発信 ・栃木県ものづくり企業ガイドブックの配付 ・県のホームページで協議会及び会員企業の情報を発信</p>
<p>5 企業立地支援</p> <p>誘致インセンティブの強化等により、関連企業の集積拡大等を促進</p>	<p>(1) 地域未来投資促進法による支援 地域未来投資促進法に基づき県が作成した基本計画(計画期間：R6. 3. 31 まで)において定められた地域の特性を活用し、県が定めた一定の付加価値額及び地域の事業者に対する経済的効果が見込まれる事業(地域経済牽引事業)を行う民間事業者に対し各種支援を実施 ・実績：13件 《主な支援制度》 ①税制による支援措置 ②金融による支援措置</p> <p>(2) 地域再生法による支援 地域再生法に基づく「とちぎ本社機能立地促進プロジェクト」(計画期間：H28. 3. 15～R6. 3. 31)において、県知事に計画を申請し認定を受けた事業者の本社機能等の移転・拡充を支援 ・認定実績：4件 《主な支援制度》 ①オフィス減税の特例措置 ②雇用促進税制の特例措置 ③中小企業基盤整備機構による債務保証 ④日本政策金融公庫による中小企業向け低利融資</p> <p>(3) 立地支援関係の県補助金 ①栃木県企業立地・集積促進補助金 本県への企業立地、研究開発機能や本社機能を有する工場等の立地を促進するため、土地の取得・建物の新築等に対して補助</p>

計 画 概 要	実 施 事 業
	<ul style="list-style-type: none"> ・実績：18件 ②栃木県産業定着集積促進支援補助金 県内で長年生産活動をする既存企業の工場等の新增設、建替えに対する補助 ・実績：11件 ③栃木県本社機能等立地支援補助金 企業の地方拠点化を図るため、本社機能等を県内に設置する場合のオフィス賃借料に対して補助 ・実績：6件 ④栃木県オフィス移転推進補助金 県外企業がリモートワークを推進するために地方への移転や分散をする目的で、県内にオフィスを設置する場合の賃借料に対する補助 ・実績：11件
<p>6 資金調達支援</p> <p>戦略3産業・未来3技術等の分野における円滑な資金調達を支援</p>	<p>(1) 産業政策推進資金</p> <p>○重点政策推進融資 県が戦略的に推し進める産業施策に取り組む企業を対象とした県制度融資による優遇資金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実績：2件 <p>(2) 産業立地促進資金</p> <p>①新規立地促進融資 各種法令等に基づく県内工場適地や県内産業団地への工場等新設に対する融資</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実績なし <p>②グローアップ融資 先進的な大規模投資等に対する融資</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実績なし
<p>7 新型コロナウイルス感染症対策等支援(県工業振興課事業)</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策及び物価高騰等対策に資する取組を支援</p>	<p>(1) 戦略3産業経営強靱化テクニカルコンダクター派遣事業 新型コロナウイルス感染症の拡大により、売上に大きな影響を受けている戦略3産業に携わる中小企業の新分野進出や新事業創出を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実績：2件 <p>(2) ものづくり産業物価高騰等対策支援補助金(補正予算により追加) エネルギーや原材料等物価高騰等の影響を軽減させるため、県内企業が行う生産コスト抑制に向けた省資源化・高効率化に資する取組又は安定的に調達可能な代替原材料への転換に向けた取組に対して助成(助成率1/2以内、限度額400万円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実績：1次公募23件、2次公募18件
<p>8 カーボンニュートラル実現に向けた産業成長推進支援</p> <p>カーボンニュートラルの実</p>	<p>(1) カーボンニュートラル経営セミナー 経営層を対象に、国や企業等のトップクラスのカーボンニュートラル実現に向けた動向や考え方等を紹介するセミナーを開催</p>

計 画 概 要	実 施 事 業
<p>現に向けた「経済と環境の好循環」の創出のための事業者の取組を支援</p>	<p>(R6.3.1・ライトキューブ宇都宮及びオンライン)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ1：「カーボンニュートラルを取り巻く国内外の潮流と地域企業への期待」 <p>講 師：(株)ニューラル CEO／信州大学特任教授 夫馬 賢治 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ2：「地域資源の活用拡大とカーボンニュートラル」 <p>講 師：やまこ産業(株) 営業部長 小倉 久緒 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参 加：134名 <p>(2) 新産業創出支援事業(一部、栃木県産業振興センター基金事業)</p> <p>カーボンニュートラル実現に向けた新産業分野における革新的な技術開発やシステム構築等に対して、経費の一部を助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FS 調査に対する助成 新規：1 件 ・インキュベーション研究に対する助成 新規：0 件 継続：2 件 ・実用化開発に対する助成 新規：1 件 継続 2 件 <p>(3) 製造工程脱炭素化促進事業</p> <p>製品製造時におけるCO2削減など、サプライチェーン全体での脱炭素化の潮流に対応し、県内企業における製造工程の脱炭素化を促進するため、セミナーや相談会の開催、アドバイザー派遣、モデル創出事業、グループワークを実施</p> <p>①製造工程脱炭素化促進セミナー</p> <p>サプライチェーン全体での脱炭素化の潮流やそれに対する事例等を紹介するセミナーを開催</p> <p>第1回(R5.5.29・オンライン)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ1：「カーボンニュートラル社会に向けた取り巻く状況と製造業への期待」 <p>講 師：(一社)サステナブル経営推進機構 SX事業部 部長兼主任研究員 鶴田 祥一郎 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ2：「サプライチェーンでのCO2排出量とコミュニケーションの考え方」 <p>講 師：(一社)サステナブル経営推進機構 コンサルティング事業部 部長兼統括研究員 宮崎 昌 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参 加：28社・団体、61名 <p>第2回(R5.7.19・オンライン)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ1：「ものづくり産業におけるライフサイクルアセスメント(LCA)の活用」 <p>講 師：(一社)サステナブル経営推進機構 コンサルティング事業部 部長兼統括研究員 宮崎 昌 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ2：「サプライチェーン全体での脱炭素化実現のためのLCA入門」 <p>講 師：(一社)サステナブル経営推進機構 コンサルティング事業部 主査兼研究員 神谷 優大 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参 加：14社・団体、24名 <p>第3回(R5.8.21・オンライン)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ1：「サプライチェーン全体での脱炭素の潮流～最新動向～」 <p>講 師：(一社)サステナブル経営推進機構 コンサルティング事業部 部長兼統括研究員 宮崎 昌 氏</p>

計 画 概 要	実 施 事 業
	<p>・テーマ2：「事例に見る『見える化』取り組み手法」 講師：(一社)サステナブル経営推進機構 コンサルティング事業部 主査兼研究員 神谷 優大 氏</p> <p>・参 加：13社・団体、21名</p> <p>②製造工程脱炭素化促進相談会 製造工程における脱炭素化に取り組む上での企業の疑問や不安に対し、専門家からの助言等を行う相談会を開催</p> <p>第1回(R5.8.2・オンライン) 参加：4社・団体、7名</p> <p>第2回(R5.11.17・オンライン) 参加：2社・団体、3名</p> <p>③製造工程脱炭素化促進アドバイザー派遣事業 企業ごとに異なる個社の課題や各企業に応じた設備の投入等について助言するアドバイザー派遣事業を実施</p> <p>・実績：9社</p> <p>④製造工程脱炭素化モデル創出事業 「製造工程脱炭素化促進アドバイザー派遣事業」のアドバイザーから助言を受けた企業で、CO2削減効果が高いと認められる取り組みに対する助成を行い、モデル企業を創出</p> <p>・実績：2件</p> <p>⑤製造工程脱炭素化促進グループワーク 製造工程脱炭素化に資する改善策や取組事例等の横展開による県内企業への波及を目指すため、専門家派遣やモデル創出事業を受けた企業からの取組事例の発表、意見交換等を行うグループワークを開催</p> <p>・開催日：R6.3.21・オンライン ・参 加：19社・団体27名</p> <p>(4) 脱炭素化技術育成支援事業(栃木県産業振興センター基金事業) 県内企業の脱炭素化に資する技術を研究の初期段階から育成支援するため、技術開発に要する経費の一部を助成(助成率2/3以内、限度額500万円)</p> <p>・実績：なし</p> <p>(5) 脱炭素化技術実用化促進事業</p> <p>①脱炭素化社会実現技術研究会事業 県内企業の脱炭素化の課題解決のために、最新技術情報を提供する研究会及び技術・ノウハウの蓄積を図るワーキンググループ(WG)を開催</p> <p>・テーマ：マルチマテリアル化技術、再生材料・バイオプラスチック関連技術</p> <p>・開催回数：研究会5回、WG計5回(マルチマテリアル3回、再生材料・バイオプラスチック2回)</p> <p>・参 加：111社、151名</p> <p>②環境関連大型展示会共同出展事業 自社の技術、製品の売込み手法(事前勉強、現地指導)を学び、県内企業の販路開拓・拡大等を目指す。</p> <p>・参加：6社</p>

計 画 概 要	実 施 事 業
	<p>ア 事前勉強(オンデマンド配信)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期間：R5.7.31～9.15 ・講師：(株)シャベリーズ 代表取締役 丸山 久美子 氏 <p>イ 第3回脱炭素経営EXPO秋への出展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会 期：R5.9.13～15 ・会 場：幕張メッセ(千葉県千葉市) ・来場者：38,277名 <p>ウ 現地指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：R5.9.13 ・会 場：幕張メッセ(千葉県千葉市) ・講 師：(株)シャベリーズ 代表取締役 丸山 久美子 氏 <p>③脱炭素製品購入促進事業(とちぎカーボンニュートラルGoods)</p> <p>ア 商品認定制度</p> <p>県内中小企業等が開発した脱炭素に資する商品を県において認定することで、県における随意契約を可能とし、県内企業の販路拡大を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定商品：1商品 <p>イ 展示会出展</p> <p>上記認定を受けた製品の県職員向け展示会の開催等を行うことで認定商品の販路拡大を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○県職員向け展示会開催 <ul style="list-style-type: none"> ・期間：R5.10.27～11.10 ・場所：栃木県庁本館2階ガラスケース ○ものづくり企業展示商談会を通じたPR <ul style="list-style-type: none"> ・期間：R5.11.16 ・会場：マロニエプラザ大展示場 ・内容：認定商品紹介をポスター等でPR <p>(6) カーボンニュートラル推進融資</p> <p>脱炭素化に資する製品・技術の開発や設備導入等に取り組む企業を対象とした県制度融資</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実績なし <p>(7) サービス産業カーボンニュートラル機運醸成事業</p> <p>サービス産業の脱炭素化促進のための講演会・ピッチイベントを開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ○脱炭素社会への挑戦と提案(R6.3.13) <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ：「中小企業の『脱炭素化経営』のメリットとビジネスチャンス」 ・ピッチ企業数：5社 ・会 場：栃木県庁東館4階講堂及びアーカイブ配信 ・参 加：97名(アーカイブ配信登録者込み)
<p>9 経済安全保障への対応を契機とした産業成長支援</p> <p>経済安全保障への対応を契</p>	<p>(1) 経済安全保障対応促進セミナー</p> <p>経営層を対象に、経済安全保障に関する最新情報、経営上の留意点等についてのセミナーを開催</p>

計 画 概 要	実 施 事 業
機とした県内産業成長の促進	<p>[第1回] (R5. 9. 29・オンライン)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ：「中小企業も直面する経済安全保障とは何か」 講 師：明星大学経営学部 教授 細川 昌彦 氏 ・参 加：36社・団体、55名 <p>[第2回] (R5. 10. 30・オンライン)</p> <p>第1部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ：「経済安全保障を好機と捉えた経営戦略 ～経営者の為のサプライチェーン強靱化策～」 講 師：(株)ハート・クオリア 代表取締役 座間 安紀夫 氏 <p>第2部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ1：「技術情報管理認証制度(TICS)について」 講 師：経済産業省貿易経済協力局貿易管理部安全保障貿易管理課係長 橋口 奈穂 氏 ・テーマ2：「『秘密情報流出への備え』～知っておきたい海外展開時の秘密情報管理～」 講 師：(独)日本貿易振興機構 知的財産アドバイザー 茂木 裕之 氏 ・テーマ3：「技術流出の防止に向けて」 講 師：栃木県警察本部警備部警備第一課 課長補佐 植木 典央 氏 ・参 加：26社・団体、38名 <p>(2) 経済安全保障関連企業等調査分析事業</p> <p>国の経済安全保障関連施策を踏まえ、本県における特定重要物資等に関する県内企業の実態調査及び本県が取り組むべき施策等を検討するため調査・分析等を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査分析期間：R5. 5～R5. 11 ・回答数：1, 320社(回答率 31. 6%)